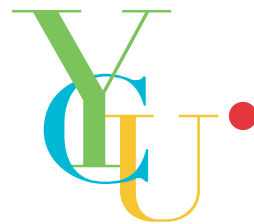


# 進 交 会 報



**祝**

**横浜市立大学  
創立90周年**

【目次】

理事長・学長・校長挨拶 二  
 進交会館建替え状況中間報告 三  
 人生における選択 四  
 人生百年時代 五  
 市大だより 六  
 市大活動だより 七  
 市大同期会だより 八  
 市大創立100周年に向けて 九  
 市大だより(続) 一〇  
 Y校だより 一一  
 Y校部活動だより 一二  
 Y校同期会だより 一三  
 Y校OB会だより 一四  
 支部だより 一五  
 進交会館建替え募金協力者 一六  
 進交会だより 一七  
 Y校会だより 一八  
 訃報、編集後記 一九

発行所 一般社団法人 進交会

〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 6-111

メールアドレス [shinkoukai@nifty.com](mailto:shinkoukai@nifty.com)

電話 045-681-6575 FAX 045-308-7970

ホームページ <http://shinkoukai-web.jp/>

# 進交会は来年秋の新ビル竣工を 目指して頑張ります！



一般社団法人進交会 理事長 古屋 文雄

会員の皆様には、いつも進交会事業にご協力、ご支援を頂いており、厚く御礼申し上げます。

また、今回は多くの皆様方に三年前の「リニューアル募金」に続いて、「進交会館建替え募金」にもご協力を頂いております。

私、古屋文雄は理事長二年目を迎え、秋谷前理事長が力強く進めてこられた路線を引き継ぎ、進交会の活性化を更に強力に進めてまいりたいと考えています。

昨年からは具体的に進めております「進交会館の建替え」は今年の4月からビルの解体に入り、新ビル建設の準備が始まりました。都度発生する課題に取り組み中で、概ね順調に計画は進行しています。新ビルが完成して、進交会の収支を支えてくれるようになるまでは、進交会役員一同力を合わせて、乗り切る覚悟です。

会員の皆様におかれましては約1年後の「新進交会館の完成」に向けてご期待を頂くとともに、従来の「みなと倶楽部の活動」につきましては継続していくことと新たな視点で新しい取り組みをすることも考えていきたいと思っております。今後も会員の皆様には絶大なるご支援とご協力をお願いしたいと思います。

「新進交会館の完成」までの約2年間、進交会はY校に仮事務所を置き、同窓会活動をしております。そして進交会としての広報は進交会報と進交会ホームページでお知らせしますが、この機会に進交会ホームページを更に効果的に活用したいと考えております。進交会の運営拠点がない中で、進交会会員の皆様にはもう暫く大変なご不便をお掛けしますが、事情ご賢察の上、ご理解を宜しくお願いいたします。

# 創立90周年の歴史と学びの深化



公立大学法人 横浜市立大学学長 窪田 吉信

平成30年は、本学の前身となる横浜商業専門学校が昭和3年（1928年）に設立してから90周年の節目の年を迎えます。

歴史に刻まれた様々な出来事を乗り越え、ここまで大学が発展してきたのは、進交会の皆様をはじめとする多くの方々のご支援のおかげです。心より御礼申し上げます。

この90周年を記念し、11月3日（土）に金沢八景キャンパスにおいて記念式典を開催します。皆様お誘い合わせのうえご参加ください。

平成30年4月には首都圏初のデータサイエンス学部を開設し、65人の学生を迎えました。人工知能やビッグデータといった今までにない新しい時代に対応できる人材を育成します。そして、平成31年には国際総合科学部を再編し、「国際教養学

## Y校の発展を目指し



横浜市立横浜商業高等学校校長 長田 正剛

歴史の多くを学ぶことができ、百三十七年間の歴史の中で、歴代の卒業生の方々が地元横浜をはじめ全国さらに世界各地で活躍されており、進交会、Y校会からの温かいご支援は本校の教育活動を進めていく上で非常にありがたく思います。あらためて深く感謝申し上げます。

現在の南太田に移転して既に百十数年が経ちますが、日頃から自治会をはじめ、小中学校、区役所及び関係諸機関の方々にもたいへんお世話になっております。授業を通じての地域への貢献も多数あり、地域から愛されるY校を感じています。七月の第百回全国高等学校野球選手権神奈川県予選では、皆様の応援で保土ヶ谷球場全体がY校の応援で一体感に包まれました。選手にとっても大変な励みとなりました。Y校の野球部員としての誇りを感じることができました。

部」「国際商学部」「理学部」の3学部が発展します。ますます高度に複雑化する社会の課題解決のため、より専門的な知識が必要とされる場面が多くなり、この傾向は今後も加速していくでしょう。こうした社会環境の変化を見据え、大学が考える次のステージは総合的な教養の力を土台とした専門性の深化です。それぞれの専門分野の特性に柔軟に対応した教育と研究の高度化で専門性を深め、同時に強みである教養力を高めることで、社会課題に果敢に立ち向かうための素養を身に付けることができます。これまでに実績のある教養教育を基礎に、新たな学部による専門教育が加わることで、学びは確実に深化します。

歴史と伝統を重んじ、未来に向けて常に発展する横浜市立大学にご期待ください。進交会の皆様におかれましては今後ともご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

援で一体感に包まれました。選手にとっても大変な励みとなりました。Y校の野球部員としての誇りを感じることができました。

Y校は商業科・スポーツマネジメント科及び国際学科の3学科の生徒達が横浜から世界へと視野を幅広くもちながら課題探究型の学習を重ねています。ニューヨーク、バンクーバー、台湾との国際交流と海外修学旅行等を通じて国際人の育成に努めております。また大学連携では横浜市立大学に、特別講義や研究発表の講評等でご指導いただきながらグローバル・ラーニングを進めております。

卒業生の皆様もお時間のあるときに是非母校にお立ち寄りください。生徒の明るい挨拶がお待ちいたします。Y校生徒が今後さらに飛躍できますよう、進交会の皆様方には引き続きご支援よろしくお願い申し上げます。

☆新進交會館建替え工事中間報告

平成30年1月にテナントの退去が完了し、2月に進交會事務所をY校教育支援センター内に移転し、4月より進交會館の解体工事を始め9月に終了しました。新進交會館の建設工事は10月末に着工し、平成31年11月に竣工予定です。

現在、特別委員会プロジェクトチームにより新進交會館の実施設計を推進中です。また、会員の皆様に使え易く愛される『新みなと倶楽部』の構想、運営についても事業委員会を中心に検討を進めていく所存です。



(平成30年8月30日現在、取壊しほぼ完了)

☆『進交會館建替え募金』のお願いを平成31年6月30日まで延長します

本会報20・21ページ記載の通り、平成30年8月末現在、555名の方から総額12,687,728円の建替え募金のご協力を頂きましたが、目標金額(2,000万円)に向けて更に上乘せしたく、平成31年6月末まで募集を延長することとしました。引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。詳細は同封

の「進交會館建替え募金」ご協力をお願いをご覧下さい。



(新進交會館イメージ写真)

『みなと倶楽部』一時休業のお知らせ  
 新「進交會館」建替え期間中、「みなと倶楽部」は休業しています。完成後は新「みなと倶楽部(仮称)」の設置を予定していますが、今迄以上に利用し易い「卒業生の交流の場」にしていきたいと考えています。  
 【休業期間】  
 平成30年1月～平成31年11月

進交會館建替え期間中は左記の仮事務所で進交會業務を行なっています。  
 〒2320006  
 横浜市南区南太田二―三〇―一  
 横浜市立横浜商業高等学校  
 Y校教育支援センター内

電話 045-308-7960  
 FAX 045-308-7970

【建物の概要(案)】

建物構造	鉄筋コンクリート造 9階建 (1F) テナント (2F) 進交會事務局・会議室・みなと倶楽部 (3F) 進交會会議室・研修室 (4F～9F) 賃貸住宅(1DK・24戸)
建築面積	160.19㎡(48.54坪)・延床面積 1,259.62㎡(381.7坪)
所要事業資金	523,000,000円
資金調達	(資金) 住宅金融支援機構 (保証) 財団法人 首都圏不燃建築公社 (返済) 35年間 固定金利
工事スケジュール	解体工事完了 2018年9月 建設工事着工 2018年10月 竣工予定 2019年11月
施工	生和コーポレーション株式会社 東京都千代田区神田淡路町1-3

賃 貸 経 営

STSS 事前調査から経営計画、設計・施工まで安心のトータルサポート。

賃貸経営トータルサポート

FG35 安心の最長35年間家賃保証\*。安定収入で経営負担から解放されます。

一括借上げシステム

\*融資期間による



カタログ資料ご請求・お問合せ  
 ☎045-478-0640

10年以上のおつきあい  
 生和イメージキャラクター  
 松岡 修造さん

SEIWA 生和コーポレーション株式会社 横浜支店第一営業部

# 人生における選択

大隈 郁仁 (市大商昭57卒)  
東急不動産ホールディングス株式会社  
代表取締役社長



広島瀬戸内海に面した三原・尾道で育ち、横浜市大に入学した当初、あの金沢八景の街の雰囲気や潮の匂い、何よりゆったりとした時間の流れなどが生まれ育った街とよく似てるなと感じたものです。大学在学中は決して真面目に勉強した方ではありませんが、それでも会計学を学びつつ、周辺の郊外型ニュータウンやマリーナ開発などを見聞きしながら漠然と、大きな投資を伴う新しい街づくりをしてみたいと考えるようになって、今の東急不動産に就職しました。よく人生のターニングポイントは？という質問をされるのですが、もちろん進学する高校、大学の選択もわかり、就職する会社の選択もわかりだと思えますが、自分のやりたいことを強く意識した選択

という意味では、やはりこの就職が人生初めての大きな選択だったかなと思います。

入社後は、建売住宅やマンションの営業、人事担当などを経て、平成3年、入社10年目にやっとやってみたかった郊外のニュータウン開発を担当する開発事業本部という部署に異動することができました。しかし時代はすでにバブルの崩壊、失われた20年といわれるデフレに突入。郊外の住宅の売行きも急激に悪くなっていき、会社の業績悪化とともに新規での新しい街づくりがほとんど凍結、撤退を余儀なくされたのです。今から考えれば、大きな投資が長期間未稼働となるような大型開発のビジネスモデルは、そもそもデフレという時代には合わないということでした。平成10年、折り返しも国主導で不良債権の処理を目的とした不動産の証券化が始まり、SPC法が制定されました。個人的にも、もともとSPCというスキームに興味があったこともあり、郊外の大型ショッピングセンターのSPC法活用による証券化にチャレンジし、不動産を裏づけとするSPCが発行する社債に初めて格付けを取得するなど、業界に先駆けて新しいビジネスモデルを実践することができました。平成11年の春、ちょうど私が40歳の時、これも自らやりたいと強く選択をした出来事でした。

まだ幼いなあと思います。でも人生100年時代と言われてるし、まだ5分の3、マラソンで言えば25キロ付近、これからいろいろなマイクドラマが待っているはずだ。この先どう自分の人生を完走しようか、自分らしい生き方の選択とはなんだろうと考えるようになってきました。

そう考えると、金沢八景に通っていた大学時代はちょうど人生の5分の1、マラソンなら集団状態の8キロ付近。まだまだゴールは考えられないほど遠く先の話で、とりあえずこの集団から遅れないようにとの意識が強い頃でした。そして、その頃の就職は人生初めての大きな選択をしたつもりでしたが、今振り返ると長き人生の中ではさほど大きくない選択だったかもしれません。当時違う選択であったとしても、それはそれで十分に人生を謳歌する選択がたくさんあったと思います。むしろこれからの5分の1、80歳位までの20年の間にどんな選択があるか、とても楽しみな今日この頃です。

ONWARD

Tel. 0120 586 300 www.onward.co.jp



## 人生百年時代

増田 日出雄（Y昭33卒）  
学校法人関東学院 理事長



人生百年時代という言葉が新聞・雑誌等で見られるようになりましたが、私は昭和33年3月にY校を卒業し、今年5月に79歳になりました。月に1・2回はゴルフコースに出て、若い人と一緒にプレーをしています。毎日を健康に過ごすため、もう10年以上雨の日を除き、朝食前2時間ウォーキングを続けています。現在は、学校法人関東学院の理事長として月曜日から金曜日までフルタイムで働いています。関東学院は、幼保一体のことも園が2園、小学校が2校、中高が2校と大学を持つ総合学園で、園児・児童・生徒・学生を合わせると、約1万5千人となります。

昭和37年3月関東学院大学を卒業し、すぐに日本揮発油株式会社（現・日揮株式会社）に入社しました。入社以来ずっと財務経理畑を歩いてきました。そこでは、Y校時代に学んだ簿記・会計が大変役に立ちました。

事が主体でしたが、徐々に海外の仕事が多くなり、中国・東南アジア・中近東・アフリカ・アメリカと地域も広がり、今ではロシア・オーストラリア・ヨーロッパと世界中で仕事をするようになりました。

その結果、お客様も外国人、下で使う人も外国人となり、外国の文化を理解しないと仕事が進まない環境になりました。しかし、外国の人と一緒に仕事をしてみても感じた事は、個人的に信用される事が出来る、出来ないの出発点であるという事でした。

Y校の校歌にもある「誠を守る商人我ら」が世界中どこでも大変重要であることとを、いくつものプロジェクトに係り実感しました。私がチーフアカウンタントとして係ったクウェートのリファイナリーのプロジェクトでは、コストプラス・ファイ契約で日揮の受領する前の客先のお金を客先の立場で預かり、運用し、支払いをしていく役目を委託され「客先から増田に任せておけば問題ない」という言葉を相手の責任者からもらい何千億円をハンドリングしました。

また、役員になってから15年間会社のIR（インベスターリレーション）の担当役員として、毎年ヨーロッパ、アメリカの投資家をまわり、会社のファンになつてもらおう努力をしました。会社の業績は良い時も悪い時もあります。どのような時でも誠実に逃げることなく真剣に対応することで、日揮がグローバルカンパニーとして認めていただけるようになり、海外株主も増加しました。

これらも皆、「誠実」というものがキーになって成功したと思っています。

もう一つ仕事をする上で大切な事は、誰にも敗けない専門性を持つことだと思っています。相手が、この人はこの道の達人だと思ってくれば、コミュニケーションは90%出来たことになります。

私の場合、公認会計士3次試験の試験委員として何年も大学の先生方と並んで、自分が試験問題を作成しました。

会計の専門家として周りが認めてくれることで、仕事がスムーズに進むことになりました。この経験から何でもよいので、この件については誰にも引けを取らないという専門性を持つことを後輩には進めています。グローバルビジネスでは、名刺の肩書などは通用しません。どれだけ確かな知識や技術があるかが問われるのです。この専門性に加え、美術・文学・音楽・演劇・スポーツ等の広い知識があれば、鬼に金棒です。どんな相手とも、共通の話題に入っていけることになります。

70歳で日揮の副会長を退任した時は、もう仕事はしないうつもりでしたが、大学の同窓会のメンバーから頼まれて、関東学院の経営をお手伝いすることになりました。当初は、4年間のつもりでしたが、9年になってしまいました。人生百年時代では、80歳まで現役で過ごすこととされています。まさにその通りの現役生活を送っていますが、この後は一般の方々と同じ老後を楽しみたいところにも積極的に顔を出していきたいと考えています。

まごころ・信頼・サービスをお届けします。



- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー
- 業務スーパー

〒232-0016

横浜市南区宮元町4丁目9番地 TEL 045 (741) 4747

世界約67,600店舗

総売上高 約11兆482億円

18の国と地域にコンビニエンスストア、スーパー、レストランなどを展開し、世界中の人々に、質の高い商品サービスをお届けしています。



<http://www.7andi.com>

# 市大だより

## ◆横浜国立大学の学生数 (平成30年5月1日現在)

学部	学生数	男子学生数	女子学生数
国際総合科学部	3,197	1,328	1,869
データサイエンス学部(1年のみ)	65	41	24
医学部	医学科	559	374
	看護学科	408	12
合計(人)	4,229	1,755	2,474

大学院	学生数	博士前期	博士後期
研究科			
都市社会文化研究科	61	39	22
国際マネジメント研究科	51	47	4
生命ナノシステム科学研究科	147	125	22
生命医科学研究科	98	77	21
医科学研究科医科学専攻	409	44	365
医学研究科看護学専攻	59	54	5
合計(人)	825	386	439

- ・医師国家試験合格率 97.7%
- ・平成29年度医学部医学科の実績(全国平均90.1%) ※既卒含む
- ・看護師国家試験合格率 100%
- ・平成29年度医学部看護学科の実績(全国平均91.0%) ※既卒含む
- ・男女比 男子41% 女子59% (平成30年5月1日現在(学部生数))

## ◆データサイエンス学部始動

平成30年4月に開設した首都圏初のデータサイエンス学部では、65人の新入生を迎え、IoT社会の到来を見据えてビッグデータから新たな価値を生み出すデータサイエンス人材の育成に取り組んでいます。学部教育の要となるのが産官学連携であり、現在、企業との協定締結を進めているところです。

協定締結により、それぞれが持つ人的・情報資源・ノウハウとの相乗効果を期待し、データサイエンスセミナー開催のほか人材交流を通じた人材育成や共同研究を進めるとともに、データが生まれる現場に乗り込んだ実践的な学生教育を推進し、社会の発展に貢献することを目指します。

協定を締結した企業

- ・(平成30年7月末現在、協定締結日順)
- ・株式会社インテージホールディングス
- ・サントリーMONOZUKURIエキスパート株式会社
- ・株式会社マイナビ
- ・全日空商事株式会社
- ・株式会社帝国データバンク
- ・株式会社マクロミル

## ◆国際総合科学部再編

平成31年4月 専門性を深める3学部が開設

国際教養学部、国際商学部、理学部へ。国際総合科学部を再編し、平成31年4月より国際教養学部、国際商学部、理学部を開設します。医学部と平成30年4月に新設したデータサイエンス学部に加え、国際総合科学部を国際教養学部、国際商学部、理学部の3学部にて再編することにより、5学部を備えた総合大学として時代の要請に応える教育体制を構築します。

### 【再編のポイント】

- ・教養教育を土台とした専門性の深化
- ・国際社会に対応するためのグローバル教育の強化
- ・学部から大学院につながる体系的な学びの可視化

### 【育成する人材像】

- ・国際教養学部
  - ・深い思考、柔軟な発想、理論に裏打ちされた実践力でグローバル化時代の未来を切り開く国際人
- ・国際商学部
  - ・実社会に変革をもたらすグローバルリーダー
- ・理学部
  - ・多角的アプローチで生命現象を理学的に解明する人材

## ◆コミュニケーションルタジャパンと協定を締結

平成30年4月にコミュニケーションルタジャパン株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:原口淳(市大商昭54卒))と「産学連携に関する基本協定書」を締結しました。

コミュニケーションルタジャパン株式会社とは、本学の卒業生である社長の原口氏による講義やインターンシップの学生派遣などを通じて交流を重ねてきました。今回の協定締結により、学生教育を充実させ、本学研究者との人材および研究交流を強化し、両者による産学連携活動の一層の推進を目指します。

## 古本募金のご報告とお礼

### YCU古本募金



不要になった本やCD、DVD、ゲームソフトをご提供ください。買取額は大学への寄附となり、この寄附金は大学図書館の図書購入費として活用されます。

29年度も古本募金を通じてたくさんの寄附をいただきました。ご協力ありがとうございます。

ご提供いただいた古本の数  
**25,753点**

寄附金額  
**458,733円**

お問い合わせ  
Tel. 045-787-2447 (横浜国立大学 基金担当)

◇医療研究の「かもめプロジェクト」がスタートしました！

附属病院の患者様からの遺贈を財源とする「かもめプロジェクト」が、平成30年4月よりスタートしました。本プロジェクトは本学の「医療の研究・発展に活用して欲しい」とのご遺志を踏まえ、学内で検討を重ね新たに創設したものです。本プロジェクトには多数の応募があり、審査の結果、6つのプロジェクトが選定されました。各プロジェクトはいずれも、現在の医療では難治性の疾患であり、一日も早い革新的治療法の確立が望まれます。

本プロジェクトのスタートに合わせて、寄附者への感謝と研究発展への誓いの意を込めて、福浦キャンパスに遺贈顕彰碑を設置しました。各プロジェクトとも精鋭の研究者チームが、一日も早く研究成果を実際の医療に還元できるよう取り組んでいます。



遺贈顕彰碑を囲む「かもめプロジェクト」の研究チーム代表者たち

市大部活動だより

◇【弓道部】

玉井 裕貴 (市大総2年)

横浜市立大学体育会弓道部は平成30年で創部60年を迎えました。現在の部員構成は、1年生11名、2年生5名、3年生9名、4年生9名の計34名で活動しており、南関東ブロックにおいて男子はII部リーグ、女子はI部リーグに所属しています。

平成29年度の女子は全国選抜に出場し、ベスト8という成績を収めました。平成30年度の目標は、男女ともに全国レベルの大会において良い成績を残すこと、加えて男子はI部リーグに昇格することとされています。

また平成30年には、卒業生の方々より援助をいただき、的を設置する塚(あづち)の整備を行うことができました。今後も卒業生と密に関わって良い成績を残したいと思ひますので、応援よろしくお願ひします。



◇【女子ハンドホッケー部】

飯塚 彩 (市大総3年)

私たち女子ハンドホッケー部は、今年で創部22年になります。現在1年生5人、2年生3人、3年生6人、4年生6人の計20人で朝練を含む週5日活動しています。

平成29年度は念願のI部昇格を果たしました。平成30年度の春季リーグでは格上相手に非常に厳しい戦いが続きましたが、何とか部の歴史上初となるI部残留を掴み取ることができました。秋季リーグでもI部残留を目指します。

平成30年度は部員一人一人が切磋琢磨し、部にとって飛躍のシーズンにしたいと思ひます。I部リーグに定着できるようにチーム一同邁進していきますので、卒業生の皆様には温かく見守っていただきたいと思います。



◇【吹奏楽団「奏」】

森川 莉奈 (市大総3年)

横浜市立大学吹奏楽団「奏」は、おかげさまで平成30年に創立10周年を迎えます。年に1回の定期演奏会や地域のイベント出演などを中心に、部員が少ないながらも、わきあいあいと楽しくアンサンブルや合奏をしています。また、浜大祭では毎年たい焼き屋の出展も行なっています。

平成30年は、横浜で開催された世界トライアスロン大会EXPO2018をはじめ、様々なイベントに出演しました。今後も積極的にイベントに出演する予定です。卒業生の皆さんも是非聴きに来てください。演奏会情報はツイッター( @kanadeyca ) やブログに載せていますので気になる方は是非チェックしてみてください。



ブログのURL

### ◇「ハンドボール部」

平方 貴葵 (市大総3年)

横浜市立大学ハンドボール部は、市大体育館で週4回の練習を行っています。今年は新入生が多く、男女合わせて18人も入部しました。2年生13人、3年生10人、4年生10人と合わせて51人となります。

新1年生の力も借りながら、今年度の春リーグで男子は7部1位となり、6部へ昇格となりました！

女子は2部B7位となり、悔しい結果に終わりましたが、目標を男女ともにリーグ昇格として日々練習に励んでおります。

現在、週4回の練習のうち1日は初心者のための練習日とし、経験者もそれに混ざることでの基礎等を見直す機会としています。男子は6部でも勝利できるような、女子は春の雪辱を果たせるように頑張ります！応援よろしくお願いします！



### ◇羽隅弘治さん(市大商昭38卒)

全日本シニアバドミントン大会で優勝

大塚 彰 (市大商昭46卒)



第34回全日本シニアバドミントン大会が平成29年11月18日より石川県金沢市を中心とする

の会場で行われ、横浜市大バドミントン部OBの羽隅弘治さんが75歳以上の部の混合ダブルスに出場し、見事優勝されました。

この大会は日本バドミントン協会の公式大会で、30歳以上で全国の各都道府県の予選通過者と前年の成績でシードされた選手が一同に会して行われます。

今回は約3,600名の選手が出場し、5歳毎の年齢層別(例えば30歳は(31歳、34歳)、35歳は(36歳、39歳)のように)のクラスに分かれて行われましたが、60歳以上に限定すると出場者は1,450名と元氣なシニアが大勢いることに驚かされます。

羽隅さんが出場した75歳以上の部は最年長のクラスになりますが、混合ダブルスに出場。1回戦を2-1というフルセットの接戦を勝ってから2回戦以降準決勝まで順調に勝ち進みましたが決勝では1セットを先行されてからの逆転で2セットを連取し見事優勝を果たしました。

羽隅さんは現役当時インカレ出場、関東甲信越大会優勝等の成績を取め市大バドミントン部の歴史のなかでも一際輝かしい活躍をされました。卒業後は会社経営(現在は京浜興農株式会社、代表取締役

役員)の傍らバドミントンを続け、全日本シニアバドミントン大会男子ダブルスでは50歳の部(51歳時)、60歳の部(63歳時)の2度にわたり準優勝となっております。

近年のバドミントンはリオ・オリンピックにおける女子ダブルスの金メダルから世間の注目をあびるようになり、若手が世界で活躍し社会の認知度が高まって愛好者が増加しているなかで、平成27年より神奈川県バドミントン協会の会長という重責を努めております。公私共に忙しい中での優勝は素晴らしいことで、我々市大バドミントン部の後輩も誇らしく思うところがあります。

### ◇合気道部創部50周年記念行事開催の報告

鈴木 正美 (市大商昭50卒)



(記念稽古)

2017年11月25日、横浜市立大学合気道部創部50周年記念行事(記念稽古・祝賀会)が、合気道部同窓会第15回総会に併せて、母校で盛大に開催されました。

まずは記念稽古の様子です。23名の参加(師範を除く)を得て、現役部員、今も合気道を続けている先輩、卒業以来何十年ぶりの稽古となる先輩等が入り交じって、濃密な時間を過ごしました。(往時の合気道部師範や、現市大合気道部監督も参加)

続いて、総会及び記念祝賀会の様子です。



(記念祝賀会)

「小規模な公立大学の小規模な部活動が、半世紀の長きに亘り維持されてきたことは、創成期の諸先輩方のご尽力、毎年部員獲得に励んできた中興の皆さまのご努力、そしてそれに應じて入部し日々切磋琢磨されている現役部員の頑張り、すべての人たちの脈々たる歩みに支えられた結果」であると、開催の案内状に書かれていました。

この案内に呼応し、全国(海外・台湾を含む)から、OB・OG等50名が集まり、それぞれの青春時代(市大時代)を回顧しつつ、世代を超えて、旧交を温めることができました。(最後に、参加者全員で歌った校歌は、卒業以来だった方もいたとか・・・)

企画運営に関わった皆様、ご支援いただいた皆様に御礼申し上げます。横浜市立大学合気道部の末永い発展を祈念いたします。



◆横浜市大管弦楽団「第48回定期演奏会」を聴く

鳥居 忠雄 (Y専昭24卒)

平成29年12月26日(火)に「第48回定期演奏会」が従来の「MM21大ホール」より「ミューザ川崎シンフォニーホール」に会場を移して19時より行なわれました。曲目は

- (A) ポロデイン交響詩中央アジアの草原にて
- (B) チャイコフスキー交響的幻想曲―休憩20分後に2部として―
- (C) ショスタコヴィチ交響曲第5番二短調の第一楽章〜第四楽章

が佐々木新平指揮者のもと行われました。会場は演奏者後部座席のみが空席で他は満席の盛況でした。古いOBや新卒のOBで演奏会を楽しんでいました。一年の最後の行事として我々も楽しく過ごしました。演奏者も先輩が卒業後、新しい入団が団員として加入して短い期間に見事な演奏を行いました。

2018年5月5日(土)に「鎌倉芸術館大ホール」でベートーヴェン交響曲第五番「運命」が演奏されました。これから多数の人々の来場を期待しています。

◆【歴史雑感】

日の丸・君が代はなぜ日本のシンボルになったのか。

野村 秀夫 (Y昭30・市大商昭34卒)  
イギリスの国旗はユニオン・ジャック、アメリカの国旗は星条旗、そして日本の国旗は日の丸。日章旗と、世界の国々にはそれぞれ、その国を象徴する国旗が

あります。そして国旗の成りたちには、さまざまな由来や、事件がつき物のようです。

日本の日の丸は、いつごろ、どうして決まったのでしょうか。日の丸が、国旗になったのは明治時代の入ってからですが、そのいきさつは次のような次第です。江戸時代末期、日本が開国か佐幕維持で

国論を二分する騒ぎの真つ只中にありました。おりもおり尊王攘夷派の薩摩藩主島津久光の行列が、行手を横ぎったイギリ人四人を殺傷する事件が起きました。

生麦(現代の横浜市鶴見区)で発生したので、生麦事件といえます。この事件が発端で翌年(文久三年)薩英戦争が起きます。イギリス砲艦の鹿兒島砲撃、迎え撃つ薩摩の艦船。戦争は結局、英国の敗北に終わりますが、この時、薩摩の艦船の標識が、白地に赤い色で染めた日の丸だったのです。

これを見たイギリス人は、日の丸が日本の国旗だと思ひ込む。また、後に勝海舟が海軍操練所を作り、ヨーロッパ式の海軍を養成する、この時も標識は日の丸でした。こういった前例を経て、明治三年一月になると、日の丸が国旗として正式に制定されたのです。

日の丸の原型は、古来天皇の即位の時に使われた日章幡(ぼん)という旗だと言われています。錦の布地に月にたいする日を金で刺しゅうしたものです。が、幕末に登場した日の丸と発想は同じですが、直接的な関係はなかったようです。

日本の国歌は「君が代」ですが、この歌が国歌として制定されたのは明治二六

年のことです。この歌は本来、薩摩琵琶にあるおめでたい歌で、「君が代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて・・・」と歌われる恋歌だったのです。ここで言う「君」とは天皇のことではなく、恋人をさしているのです。

薩摩琵琶の更に遡った原歌は『古今集』に出てきます。しかし、そこでも「君」は恋人であつたのですが、国歌に決まると日本の象徴、天皇を指し、今では天皇を象徴する日本というように理解できると思えます。

薩摩琵琶の「君が代」は西郷隆盛が愛唱していたといわれます。最初この歌を薩摩琵琶で歌ったところどうも調子がよくない。次に海軍軍楽隊の外国人教師の編曲を頼んだのです。ところがバタクさいことおびたらしい。というわけで最後には宮内省の楽師が編曲しました。「君が代」のメロディーが雅楽の調子の荘重なのもそのためです

以後、この歌は日本近代化と同時の国の繁栄を祈る願いを込めたものとなり、あらゆる行事、あらゆる場所で歌われることとなったのです。

※出典・・・(故)樋口清之(国学院大学名誉教授)著日本風俗の起源99の謎

市大同期会だより

◆市大三九会

幹事小峰連太郎(Y昭35・市大商昭39卒)

平成4年から毎年開催している三九会。今年も去る4月25日(水)に開催しました。当日は大雨強風警報発令中の悪天候に



も拘らず11名が大室の加藤氏、山崎氏から学校の現状や今後についてなど説明していただきました。質疑応答の後、今年の卒業式に三九会のメンバーで金沢市在住、加賀友禅作家、寺西一紘君が記念講演をした時の映像を鑑賞しました。

その後、在学時代から大きく様変わりしたキャンパス内を加藤氏の案内で見学させていただきました。久しぶりの母校との再会を終え、これも昔の面影が全くない金沢八景駅よりシーサイドラインにて横浜テクノタワーホテルに移動、懇親会となりました。全員、喜寿という齢を迎えようとしているのによく食べました。よく飲みました。近況報告は、孫と病気の話はしない。ルールでしたが、そんな話をしなくても各人が話題豊富で、大いに笑い、大いに盛り上がりました。閉会のころは天気も回復し18階からの景観も堪能、記念写真を撮り、次回を約し散会しました。

今回いろいろとお世話いただいた広報室の加藤氏、山崎氏ご両名に深く感謝し、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

三九会のメンバー諸君、次回もよろしく。お元気で!!

## 横浜市立大学創立 100 周年に向けて

横浜市立大学はY専の創立から今年で90周年を迎えます。本学のミッションは「国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学」を目指すことであり、

- ・「横浜から世界へ羽ばたく」人材育成と知の創成・発信
  - ・学生・市民・社会に対して本学が有する知的・医療資源の還元
- に積極的に取り組んでいます。

そして、10年後の2028年には創立100周年という大きな節目を迎えます。大学の歴史と伝統を重んじ、未来に向かって大学が発展し続けるため、100周年は

**感謝する** 大学の発展を見守り支援して下さった「市民のみなさま方への感謝」の気持ちを表す  
**喜びを分かち合う** 学生や教職員、卒業生をはじめ、関係者の方々と「100年に一度の喜びを分かち合う」  
**さらなる発展を決意** 横浜と共に歩む総合大学として「さらなる発展を新たに決意する」

機会であります。

今年の創立90周年は、『100周年に向けた「カウント・ダウン」をスタートする年』として位置づけられており、記念式典や学部別のシンポジウムを開催します。進交会会員の皆様方におかれましては、ぜひお誘いあわせのうえご参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。教職員一同お待ちしております。

横浜市立大学 学長 窪田吉信

### 【90周年記念式典】

- ◆日時 平成30年11月3日(土・祝) 10:00~12:00 \*浜大祭と同時開催
- ◆会場 金沢八景キャンパス 総合体育館
- ◆内容 1) 来賓あいさつ 横浜市長 林 文子氏(予定)  
2) 100周年に向けた新たなメッセージ 窪田学長  
3) 学部代表者によるパネルディスカッション

(参考) 既に開催されたイベント情報

- ・平成30年9月1日(土) 商学部・国際総合科学部経営科学系卒業生の集い
- ・平成30年9月8日(土) 理系OB会(大学院設置30周年記念会)
- ・平成30年9月27日(木) 「国際教養学部」誕生記念講演会

#### 【第68回浜大祭】金沢八景キャンパス

開催日：11月3日(土)~11月4日(日)  
 時間：10:00~20:00  
 場所：横浜市立大学金沢八景キャンパス  
 問合せ：第68回浜大祭実行委員会  
 (サークルA棟1F 学祭室)  
 045-785-1330

#### 【Yokohama Medical Festival 2018】福浦キャンパス

開催日：11月10日(土)~11月11日(日)  
 時間：10:00~20:00  
 場所：横浜市立大学福浦キャンパス  
 問合せ：横浜市立大学 医学教育推進課  
 045-787-2588

〔第16回 横浜市立大学同窓会〕開催のご案内

開催日時：平成30年11月3日（土）13：00より
（受付開始 12：00より）
会場：横浜市大八景キャンパス シーガルセンター
会費：5,000円（平成29年度卒業生1,000円）
お問合せは：（社）進交会内「横浜市立大学同窓会（市大会）」
事務局 佐藤 TEL 045-308-7960まで
※詳細は同封の同窓会ご案内チラシをご覧ください。

◆演奏会情報

【管弦楽団】

第49回定期演奏会
日時：平成30年12月28日（金）夜公演
場所：ミュージザ川崎
シンフォニーホール
（J R川崎駅より徒歩3分）

【混声合唱団】

第51回定期演奏会
日時：平成30年12月15日（土）
場所：神奈川県民ホール 小ホール
（みなどみらい線日本大通り駅より徒歩8分）

【Second Wind Jazz Orchestra】

第45回定期演奏会
日時：平成30年12月22日（土）
開場16時30分、開演17時
場所：戸塚公会堂
（J R戸塚駅より徒歩5分）

【ピアノ会】

第58回定期演奏会
日時：平成30年12月26日（水）
場所：長浜ホール
（京浜急行能見台駅より徒歩15分、
シーサイドライン幸浦駅より
徒歩15分）

◆YCU通信

「YCU通信」は年2回、卒業生のみ
なさまのご自宅にお届けしている大学発
・卒業生向け広報誌です。大学や在学生
のいま、卒業生の活躍情報などをお届け
しています。広報誌が届いていないとい
う方、住所変更を希望される方は下記担
当までご連絡ください。

☆お問合せ先

学生・キャリア支援課 卒業生担当

Tel. 045-787-2447

Mail: obog@yokohama-cu.ac.jp



Vol.6 2018年8月

◆SNS

横浜市立大学では、卒業生のみなさま
にSNS（ソーシャルネットワークサー
ビス）を利用して大学情報をお届けして
います。ぜひチェックしてみてください。

横浜市立大学卒業生担当
facebook ページ

大学・キャンパス・金沢八景の「いま」、
卒業生・在学生の活躍など、卒業生のみなさまが
「いいね!」と思う情報を発信してまいります。
ぜひチェックしてみてください!

facebookを開いて、
「横浜市立大学卒業生担当」
と検索してください!

http://www.facebook.com/YCU.alumni



＼より便利により使いやすく／



タカシマヤ
アプリ



タカシマヤの各種カード会員様対象の
ポイントアップやご優待会の開催情報をお知らせ



各店の催し情報をチェック



ポイントや残高を
確認できます。



お得なクーポンもお届け

※最新バージョンをご利用いただくためにはアプリのバージョン
アップが必要です。※ジェイアール東海タカシマヤポイント
カード、たまらんカードのご登録はできません。

ダウンロードは、かんたん。

App Store または
Google Playで検索

タカシマヤアプリ

Takashimaya

# Y校だより

## ◇着任の御挨拶

横浜市立横浜商業高等学校

副校長 清田 英美

本年度より、石川の後任として南高等学校附属中学校から着任しました清田と申します。伝統あるY校への着任となり、心が引き締まる思いでいっぱいです。

まずY校に着任して一番感動したのは、挨拶の素晴らしさです。Y校生がさわやかに、それでいて心をこめて挨拶をしてくれる姿に毎日心が洗われます。社会では、学校卒業後新しく社会に入ってくる人材に求める要素として、「コミュニケーション能力」や「課題解決能力」、「あきらめないで粘り強く取り組む力」などが求められています。その中で、初めて会った方に対するコミュニケーションの重要な印象である挨拶がきちんとできるY校生は、これから社会で活躍する心構えが日々の学校生活で培われているのだと感動するばかりです。

これからは日々変化する社会に対応できる柔軟な姿勢や能力が必要となります。毎日の授業や学校生活で真摯な姿勢で自ら学んでいくY校生を見てみると、この生徒たちを安心して社会にはばたかせることのできるよう日々研鑽を積み重ねていきたいと思う毎日です。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ◇商業科の近況について

商業科主任 宝珠山 悟

全国的な商業高校の現状として、卒業後の就職率の低下、上級学校への進学率の増加、総合学科の設置の影響を受けての入試倍率の低下など課題が顕在しています。社会からは継続教育の重要性が叫ばれ、産業界の要請を踏まえ、スペシャリストへ向かう基礎教育を重視した内容が商業高校に求められています。

神奈川県内の商業高校の現状は、全国的な情勢よりも更に厳しいものになっています。現在神奈川県内で、校名に「商業」が付いている公立高校は、Y校・厚木商業・平塚商業の3校ありますが、2020年4月には、平塚商業が再編されることになっており、そのため県内では「商業」という文字が校名に残る学校は、2020年以降は厚木商業高校とY校の2校のみになります。県内の私学でも商業の学科を廃止した学校も出てきており、商業科に対する風向きは非常に厳しいものになっています。

こうした中、本校ではこうした逆風にも負けない地に足をしっかりと張った教育を行っています。本校の商業教育の大きな柱となっているのが2年生の「課題研究」という授業です。課題研究は、2年生の2組から5組の生徒が、テーマごとに分かれて調査・研究などを進めていく科目です。

その中にある「大学生と株式会社を作ろう」というテーマのグループでは、東洋大学の国際観光学部長の先生を招いて、大学との連携授業を行っています。

定期的な東洋大学のゼミの大学生が本校を訪問し、本校の生徒に温かくも厳しいアドバイスをしていただき、社会人としての基礎力養成を意識した実践的な活動を行っています。こうした社会との接点のある経験は将来に必ず生きていくはずですよ。

最後に本校の今後の商業教育をどのように行っていくべきかという取組み方針について述べさせていただきます。校歌にもある「心の誠」の精神は、現在でも大切なものであると考えており、そうした「心の誠」の精神を持って、専門的な知識や技能を活用し、地域経済に貢献する人材を今後も育成することを目指していきます。

また、明治15年(1882年)に美澤進先生が横浜商法学校創立時に掲げられた「校訓十則」である、①正直 ②勉勵 ③性格 ④緻密 ⑤整頓 ⑥精察 ⑦機敏 ⑧謹慎 ⑨耐忍 ⑩注意 の言葉は現在のビジネスにおいてまさに求められているものであり、美澤先生の教えは、まさに未来を見据えた上で、現在の私たちに對するお言葉であったのではないのでしょうか。このように過去から現在、そして現在から将来に向けても変えてはいけない普遍的なことは今後も大切にしていきたいです。そのうえで、Y校がこれからも地域に根差し、神奈川県のみならず、日本の中でY校ここにありの意気を伝えていくためには、他校にはない工夫と知恵、そして行動を伴った真のビジネス教育を創り出していく必要があります。まさに、今が勝負の時です。OBの皆様方

と共に、私たち教職員・生徒たちが「チームY校」を合言葉として、魅力ある教育を創り出していきたくと存じますので、今後ともご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## ◇国際学科の状況

国際学科主任 八木澤 和人

昨年度は、十五年目の記念行事として「ホームカミング」を実施しました。一期生から十四期生までの生徒と教員が集い、思い出話や国際学科での学びが、職業選択にどのような影響を与えたかなど現役の高校生や職員には興味深い話が聞きました。

平成三十四年から高等学校は新学習指導要領が実施されます。その中で「学力の三要素」というものが提示されています。それは「学びに向かう力の涵養」、「生きて働く知識技能の習得」、「思考力・判断力・表現力の育成(未知の状況にも対応できる力の育成)」です。

国際学科は、総合的な学習の時間、国際関連の専門教科や国際学科交流行事等で、主体的・対話的で深い学びを目指してきました。そういった意味では、時代がようやく国際学科の取り組みに追いついてきたように感じます。

今後は、最近注目されているバカロレア教育や国連が提唱する持続可能な開発目標にも着目して、生徒の



【写真は国際学科交流会の集合写真】

探究活動においてより深い学びを目指していきたくと考えております。

今年度の活動

- ・ Y C A C 訪問及びY校OB野球観戦
- ・ Y S F 高校生会議のテーマ「差別」
- ・ 南アフリカ大使館訪問
- ・ N Y 修学旅行で国連日本代表部訪問
- ・ 上級学校訪問（一・二年）
- ・ G L 発表会（三年）

Y校ホームページにて国際学科の近況報告をしておりますので、ご覧ください。

◇商業科 スポーツマネジメ  
ント科について

スポーツマネジメント科主任

西岡 健一（商業科教諭 Y平3卒）

Y S M 自体は四年が経過しましたので取り組む内容はだいぶ安定してきました。

毎年一月に行っているイベントは昨年に引き続き午前中はスポG O M I 大会を、午後は講堂での講演会、その後体育館での体験会を実施しました。今回の講演会ではデフリンピアンの高田裕士さん、パラリンピアンの高田千秋さん夫妻にお話しをしていただきました。アスリートとしての競技の話はもちろん、耳の聞こえない旦那さんと目の見えない奥さんの日常生活や子育ての話をお聞かせいただきました。聞こえないことや見えないことをハンドと感ぜさせない明るさに参加者は引き込まれ、質疑応答では大変な盛り上がりを見せました。体験会では今回初めてポッチャを実施しました。誰もが簡単にできるスポーツなのでこちらも大変盛り上がりました。参加者に障害者スポ

ーツを知ってもらい興味を持ってもらうと同時に、共生社会について考えてもらうきっかけになったのではないかと思います。

その他の取り組みとして、一年生が新たに「スポーツ交流会」を実施しました。

横浜デザイン学院日本語学科の学生にきてもらいましたが、学生は全て外国からの留学生なので会話は英語のみ。ドッジボール・フットサル・バスケットボールなどを行って交流を深めました。二年生で実施するL A 研修旅行に向けてスポーツをツールとしてコミュニケーションが取れることを体験するとともに、英語の学習に対してのモチベーションを高めることができました。

◇Y校・Y専のベル先生について

横浜市立横浜商業高等学校

校長 長田 正剛

エリック・スチュアート・ベル先生は、昭和初期にY校・Y専で教えられたニュージーランド出身の英会話教師であります。その他、大学講師、作家、翻訳家、ジャーナリストの記録があります。Y校50周年記念誌にはベル先生英訳の芥川龍之介の『蜘蛛の糸』が掲載され、80周年記念誌には昭和31年11月の文化祭を訪問された先生の写真があります。

また100周年誌には卒業生からのベル先生の思い出が語られています。ベル先生は日本での英語教育に生涯をささげられ、晩年は沼津で過ごし墓は同市連光寺にあります。

私のもとに千葉経済大学の佐久間副学

長からお便りが届いたのは平成30年3月のことでした。内容は、「ベル先生の兄の孫にあたる方が、大叔父の日本での足跡をたどるためにオーストラリアから5月に来日するので、是非、Y校を訪問したい。」というものでした。

迷うことなく歓迎の返信をし、5月15日（火）にY校訪問が実現しました。グレアム・ベル氏とマーガレット夫人は国際学科の英語授業に飛び入り参加されました。

また進交会事務局のご尽力でベル先生の教え子の藤本明氏が神奈川県にお元氣でいるとの情報が得られました。藤本氏は昭和14年にY校、昭和16年にY専を繰り上げ卒業され、ベル先生のことをよく覚えておられました。藤本氏の強い希望でベル夫妻との対面が5月30日（水）にかないました。驚くことに藤本氏はベル夫妻との会話はすべて英語で話されました。ベル先生はじめY校の当時の教育が卒業生の心の中で生きていることを大いに感じた瞬間でありました。

その後、ベル夫妻は沼津にベル先生の墓参りをされ、豪州に帰国されました。



Y校部活動だより

◇書道部2年連続全国大会出場

顧問 小林 雪六華



高文連主催、神奈川県高等学校総合文化祭第52回および第53回高等学校書道展において、今年3月に卒業した部員が27年度と28年度に高文連会長賞を受賞し、全国大会への出場を果たしました。

書道展は毎年12月に横浜市民ギャラリーで行われ、教育長賞と本賞を受賞すると翌年度の夏休みに行われる全国大会への出場資格が得られます。Y校では29年度も高文連会長賞を受賞した部員がいましたが、3年生であったために今年の全国大会へ出場することができませんでした。ほかにも特選を受賞した部員もおり、部員数5人という少ない部活ですが一人ひとりが活躍しています。

さて、今年度ご来場いただきました活動を3つ紹介します。一つ目、10月のY校祭、二つ目、先程紹介した12月の第55回書道展、三つ目、1月の横浜市立学校の総合文化祭です。Y校祭では12月の書道展に向けて出せるような作品を飾ろうという意気込みで部員一同取り組んでいます。展示は美術室で美術部と一緒にいきます。二つ目の書道展は12月5日（水）から9日（日）まで行われます。三つ目の市立総文祭は例年1月下旬に行われま

す。場所は先に紹介した書道展と同じ市民ギャラリーを予定しています。活動成果をご覧いただけたら幸いです。

### Y校同期会だより

#### ◆清友会（Y昭12卒）、五十三会（Y昭14卒）

#### 1612会（Y専昭16卒）報告

藤本 明（Y昭14・専16卒）

進交会の中では最も高齢の三つの集いです。たまたま私はこれらの集いに参加させて頂いた関係で、これら三者をカバーして報告させて頂きます。（最初に最後のものです）

まず、我々の2年先輩のグループによって集いを重ねておられた清友会ですが、こちらも時の経過と共に人員も減少してきました。私たちの集いでも同じ現象です。そこで、この現象をカバーすべく、互いの倶楽部の人員が相互に交流するということ、数年続けてきました。この試みはそれなりに効果がありました。このやはり、時の経過には抗しがたく、またグループの中心的存在であった村川先輩（Y昭12卒）も逝去され、ついに長く続いた同グループも解散ということになりました。

ところでこの集いの幹事をこなしておられた林泉（Y昭12卒）先輩は既に白寿を迎えられ、判断、記憶などについては少々の衰えも感じられませんが肉体的には少々の負担があるとか。私共の集いにも高岡幸彦君（Y昭14卒）、三浦義一君（Y昭14卒）、木村銖君（Y昭14卒）がこの1年に他界され、それまで継続して

きた簡易集会の方式も遂に断念し、ここに「五十三会」並びに「1612会」を解散することにいたしました。ただこの決定は今まで続けられていた定期的集いをこのあたりで幕を閉じ、各個人で気の向くままでの交流は、それなりにできるだけ続けて行こうというものです。

最後に、最近の私の動きについて少々。実は塩釜市でY専「1612会」のメンバーの菅野多利雄学兄（Y専昭16卒）のご好意に甘え、去る7月12日、家内と共に新幹線を利用しての仙台への日帰り旅行を実行致しました。幸い天候にも恵まれ、学兄の行き届いたお心遣いのもとで見事に整備されている学兄経営の菅野愛生会緑ヶ丘病院の活動ぶりを身近に拝見するばかりでなく、学兄の地域における活動と国際的視野のもとで活躍しておられる姿に強い感銘を受けました。私共の学生時代は極めて緊張した戦時体制の中でしたが、その中で僅かに存在する青空の一隅で青春を謳歌したあの懐かしい日々のことなどを学兄と話し合ったことです。また、青葉城本丸跡からの眺めにも心打たれ、再会を約し感謝と感激を込め仙台を離れた次第です。

さて、進交会報第82号で北海道における自動車販売業界第1の実績を誇る柿本胤二君（Y専昭16卒）の奮闘ぶりをご紹介しました。本業の方はすでにご子息に譲っておられ、ご自身は趣味の方に主な時間を割いておられるようです。が、このところ、体に僅かな異常を感じておられるやに伺い、ご無事の程お祈り申し上げます。同君が会社新設に際して、校祖

美澤進先生が導入された校訓十則を同社の教育目標としておられました。これは現社長にもそのまま引き継がれているようです。ところで、持ち前の美声で施設での存在感を増している池平左衛門君（Y専昭16卒）からの便りはこのところ、ちよつと絶えております。お互いに（日々是好日）の日を重ねる前向きな努力をいたしましょう。これまでの皆様から頂いた数々のご厚意に厚く御礼申し上げます。これで私共の会としての報告を終わらせて頂きます。

#### ◆Y校五十六期生、九十三歳の同期会

関塚 貞亨（Y昭17卒）



戦後73年が過ぎ、Y校昭和17年卒で56期生の私たちが93歳になったが、永年にわたって毎年のように6月に同期会を開いているのは稀有の例であろう。

昨年同期会の出席者は僅かに4人であったが、今年6月1日の同期会には厚生省の官吏だった龍田富嘉君が参加したので5人が出席、一人増えただけでも嬉しく賑やかに感じられた。場所は進交会館が改装中のために市営地下鉄「三ツ沢下町駅」近くの食堂「浜」の二階座敷で3時間ほど楽しく歓談した。

進交会報第83号に、56期生の優れた教

育者3人、詩人、医者など異色の人物を紹介したが、灯台下暗しで同期会皆勤の大阪府高槻市在住の長谷部信彦君が俳諧の世界で宗匠と呼ばれるような人だと他から聴いた。また道明栄爾君は米軍占領下の1950年の第1回ガリオア留学生で応募者7,000人から471人が選ばれてボストン大学に留学していたこと、実に17人に1人の狭き門で、同期生には後に駐米大使となった大河原良雄、我々が卒業後にY校の先生になった池田勇二、早川聖両氏がいた。

来年は、長谷部君の要望で、新装の進交会館で開きたいということなので、例年6月開催を延期し、10月以降に進交会館で開催する予定である。今年の5人は勿論、新しい参加者を待っている。

〒221-0852

横浜市神奈川区三ツ沢下町9番14号  
関塚貞亨まで連絡を期待している。

#### ◆Y校72期5組クラス会

会長 平山 勝（Y昭34卒）

平成29年10月27日（金）好天の下、桜木町駅前ワシントンホテルベイサイドにて、女性7名、男性6名の出席で開催されました。大半の方が喜寿を祝う年でしたので、幹事さんはデコレーションケーキなども用意して、お祝いの会にしよつとの配慮だったので、出席者が例年よりちよつと少なくな



ってしまったのが残念でした。たまたま仕事や他の会合、旅行の先約と重なってしまったり、或いは体調すぐれず出席が叶わなかった方もおられました。

幹事さんは、城田、鈴木(千)、高橋さんで、ケーキ付きなのに、諸々含めて5千円の会費で締めて頂けるのは私にとりましては大助かりです。八ヶ岳山麓の引き籠り生活からしますと、元氣な皆様との交歓で、何となくもう少し頑張らねば、などと思われてきますし、「WINE HAL」での2次会にも案内戴いて、更に元氣づけられました。幹事さんと出席者に感謝です。

2019年(ここから西暦です)には、卒業後60年という節目になりますし、2020年は、大半の方が傘寿の賀の祝いを迎えます。そこで当面の目標として、来年、再来年、更にもう1年は健康寿命を維持して、この会にご参集頂けることを願って已みません。

◆第3回『38年卒(76期)』

同期会(三八会)開催

代表幹事 宮下 和光(Y昭38卒)

平成29年10月12日(木)、ランドマークタワー70階横浜ロイヤルパークホテルにて、Y校卒業55年目を記念して、三八会を開催しました。今年の夏は21日間の連続降雨があり、この時期も秋雨前線が北上した影響で、折角の展望台からの眺めが危ぶまれたこの日でしたが運良くセーフとなりました。

55年目の節目に、我同輩で三八会の顔である古屋文雄君がY校硬式野球部監督とY校校長を歴任し、今年5月、遂に進

交会理事長に就任しました。ご本人も「母校への恩返しの旅立ちだ」と披露をしておりましたが、入学時、彼がここまで頂点に達することを誰が予想できたでしょうか。ものすごい人です。

今回の同期会は、二月頃より徐々に準備を始め、301名に出欠有無の往復ハガキを投函しました。ホテルに暫定60名で契約をしましたが、10月6日の見直し時点で45名の参加となっていました。55名の物故者の黙祷を行い、代表挨拶の後、物故者となつてしまつた抒情歌手の渡辺進武君(4組)「歌手、夢慧(ゆめさと)」のCDをBGMとして流しました。そして飲食と歓談に入り、初めての試みのカラオケで大いに盛り上がり、リクエストが殺到し、あつと言つ間に3時間が過ぎ去りました。閉会の挨拶時に、今回で同期会を終了させてもらうことを報告しましたが、大ブーイングを受けてしまい、逆に2年後に再会をすることになりました。

みなと倶楽部で幹事の打ち上げを行ない、後輩のスナックへ、遅くまで盛り上がり充実した楽しい1日でした。出席者の皆様、ありがとうございました。



◆第81期8組『半世紀の集い』

井上 昭(Y昭43卒)

平成29年10月28日(土)、発起人(幹事)である出町君経営のスナック、リバ

にて開催した。卒業して50年となり、5回目のクラス会に男14名・女3名、計17名が参加した。

司会進行役の岩本君が開会宣言し、出町君による開催の経緯と乾杯発声を行なった。次に物故者名を報告し、冥福を祈り黙祷を行なう。井上による不参加者の近況報告と進交会館建替募金の提案をした。

メインの懇談会に突入!各人による半世紀の歩みに入る。途中50年ぶりの松本君が加わり、再度乾杯!在学当時の「思い出話(木嶋夫婦の話等々)」に花が咲き、一同、時の経過を忘れた。

5時30分、小林君の「閉会の言葉」と校歌を合唱し、一本締めにて、来年の再会を約束し散会した。

後日、渡邊君(カメラ・集金担当)より送付された写真とDVDには再度感動し、感謝の気持ちで一杯です。



◆第2回Y46同期会開催

前期高齢者仲間入り同期会

高橋(森) 由利(Y昭46卒6組)

ずされたとのことで、奥様よりご丁寧なお手紙を頂きました。会は石井喜代志さん(7組)・江口紀巳江さん(6組)の司会進行により、物故者黙祷・開会の辞・幹事代表挨拶と続き、新倉先生のご挨拶・永井先生の乾杯の音頭で懇親会に入りました。各クラス2名ずつの近況報告が行われる中、石井さんの友人によるテーブルマジックやお楽しみ抽選会と、大いに盛り上がり楽しい時間はあつという間に過ぎていきました。

「前期高齢者」の仲間入りをしたとはいえ、気分はすっかり学生時代に逆戻り、舟木一夫の「高校三年生」を全員で熱唱。続いて元応援団の中島高義さん(4組)のリードで応援歌「輝く伝統」校歌を斉唱、ブレイクY校のエールの後、閉会の辞で終了となるところを再び中島さんに登場いただき、「一本締め」を行い会は無事終了しました。

今回は5年後の「古希同期会」を予定しています。今回残念ながら出席できなかった皆様も次回は是非ご参加ください。尚、今回の「Y46同期会」開催にあたりましては、準備段階より当日の運営まで進交会事務局のご支援・ご協力をお願い、盛会となりましたことを深く感謝しております。

伝統ある「Y校卒業生」でよかったと、しみじみ感じた一日でした。



### ◆第94期(昭56卒) 同窓会

勝島(星)章一郎(Y昭56卒)

平成30年5月13日(日)にホテルニューグランド「ペリー来航の間」で94期同窓会が卒業して初めて行われました

昭和56年3月に卒業して56歳になり、Y校入学40年目の再会です

半年前から各クラスより集まった25名の幹事で、毎月打ち合わせして当日を迎えました。同窓会は130名の出席者で、受付時から久しぶりの再会に歓声が上がりました。喜びの笑顔が咲き始め開宴を迎えました

吉田健一さんと元ボート部の高橋リエさんの息の合った司会で、先ずは恩師と同期生の物故者に黙祷、進交会の安川栄一様より、お祝いのスピーチと進交会とY校会の活動報告もいただきました

乾杯は元野球部主将の小澤潤一くんが『乾杯』の曲を歌い、ユニークな音頭で一気にみんなが和み、学生時代に戻りました

クラス担任の門倉実先生、石川弘先生、粕谷和生先生、森英子先生、高橋則雄先生、新倉裕治先生にもご出席を賜り、当時の思い出話をしていただきました

近況スピーチやジャンケン大会で盛り上がり、校歌と応援歌「輝く伝統」を合唱して、次回は4年後の還暦時に元気な姿で再会する事を約束して閉宴しました



楽しめました大成功だねと声が上がります。二次会、三次会と最後まで意義深い同窓会になりました。

### Y校OB会だより

### ◆ボート部創部一二〇周年祝賀会を開催

辻村 忠(Y昭36卒)



平成29年12月3日(日) 創部一二〇周年祝賀会をみなとみらいのナビオス横浜に於いてボート部後援会(OB・OG)主催で開催しました。

二回目の還暦を迎え、お祝いと支えて頂いた方々、支えた仲間感謝の意を伝え、ボート部の更なる発展を期し、現役にエールを送りました。

Y校ボート部(端艇部)は明治三〇年、最も古いボート部の一つとして設立しました。太平洋戦争で廃部。昭和二九年、戦前のOB達の尽力で復活(漕艇部)しました。女子部の併設や全国大会の男女優勝、廃部の危機など紆余曲折があったものの顧問やコーチの熱意とOB・OGの支援で伝統が受け継がれました。

平成二二年七年ぶりに全国大会で入賞し、全国大会出場を続け、二六年に女子が全国大会優勝と二位、男子が三位。二七年に男子が全国大会三位二回。昨年は女子が全国大会三位二回と強豪校になった。祝賀会は復活当時から現在までの各代の卒業生一二〇名と現役と顧問三四名、元顧問の竹内先生・鈴木先生や長田校長など招待者五名の方々が集まりました。

参加者から「楽しい時間を過ごさせてもらい、有難うございました。」との声を頂きました。上記はボート部マークです。

### ◆平成29年度Y校バレーボール部OB会・OG会

吉田 國雄(Y昭36卒)

毎年秋に開催しているバレーボール部OB会・OG会が平成29年11月18日(土)に進交会館「みなと倶楽部」で開催されました。小生は2年ぶり岡山からの出席をしました。

昭和54年卒までの32名が出席された。同期生の生沼良益主将(昭36卒)の司会進行役。

昭和21年卒の渋谷重夫先輩の乾杯で始まりました。それぞれの近況報告や現役時代の思い出話で楽しいひとときを過ごしました。現在Y校バレー部は女子のみとのこと。男子バレー部の復活を心から願っております。

私たちの昭和36年現役の時、夏の合宿の1週間は柔道場(見心館)での寝泊りでした。女子部員が食事の支度をしてくださいました。先輩の会社へ訪問をして寄付金のご協力をいただき、合宿時にも指導をお願いしました。昭和34年、36年当時女子クラブが強く神奈川県大会で優勝して全国大会へ出場し、男子は関東大会に出場しました。当時は生沼君と茅ヶ崎から通学し、藤沢からは鈴木泰彦副主将が通学しておりました。クラブ活動の帰りで南太田駅前のタイ焼きを何度食べたことか、空腹を満たした懐かしい思い出があります。今でもあるのでしょうか？

**戦後日本の光と影**  
国民が安心できる国を作ろう!

森下正勝(著)(文芸社) (昭和37年Y校卒硬式野球部)  
森下和装工業(株)(豊心すま業)代表 TEL 045-811-4696

～あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい～

株式会社 **アイスコ**

フローズン・チルド食品卸  
 スーパー生鮮館TAIGA

横浜市泉区新橋町1212番  
TEL 045-811-1302 FAX 045-812-1001  
Y校 昭41年卒



今回も女子バレー部に出席者の先輩の方々からたくさんのお礼のメッセージがあり、顧問の杉崎敬一先生に叱咤激励の意味を込めてお渡ししました。



平成29年度Y校バレーボール部OB・OG会  
平成29年11月1日 於：進交会館

進交会館「みなと倶楽部」は今年度で建替えの為取り壊されることでした。今回も最後にY校校歌を全員で熱唱、記念写真を撮り和やかに終了しました。

平成30年のOB・OG会は会場が変わり、進交会館は31年新装になります。多くのOB・OGの出席があるように願っております。

**Y校吹奏楽部OBバンド**

**第26回定期演奏会のご案内**

・日時 平成31年5月1日(水)  
13時30分開演

・会場 横浜みなとみらい大ホール  
【入場無料】

・プログラム  
第一部 吹奏楽オリジナル曲  
第二部 ポピュラー音楽

日程・会場について、平成31年4月28日(日)横浜みなとみらい小ホールから変更になりました。詳しくはホームページでお知らせいたします。皆様のご来場をお待ちしております。

【問い合わせ】  
Y校吹奏楽部OBバンド  
団長 島田 章 090-1048-5207  
http://yosob-band.com/

**支部だより**

◇宮城支部

支部長 吉田 格たかし(市大商昭41卒)

平成29年度例会は前年と同じ会場 仙台駅近辺の居酒屋「かこいや」で11月11日(土)開催しました。今年度の例会は会員12名、本部事務局より中代繁理事(昭44商)に参加頂き、和やかな雰囲気の中で開催しました。支部長の開会の挨拶の後、中代理事より新たに就任された古屋理事長のご紹介があり、また進交会本部の活動並びに進交会館再建計画などについて説明頂き、会員一同新たな認識を得ることができました。

今年の例会は日立製作所を定年退職され仙台に居住を構えられた二瓶智氏(昭50商)が初参加、前回初参加の佐藤正人氏(昭62商)、津田健一氏(昭62文)の若い会員も参加され、更にしばらく欠席されていた定方史郎氏(昭44商)も参加され、新しい同窓の輪が増え懇談に花が咲きました。

その後は会員ごと現状の生活様子並びに健康維持の話や、お互いに参考にしながら時間の経過するの忘れ懇談しました。

今回都合で出席出来なかった方も、それぞれ第一線で活躍され。次回は参加して報告してくれるとのことです。



平成30年度例会も例年通り11月に開催の予定です。

事務局長 吉田 郁ゆき(市大商昭59卒)  
電話 022-330916845  
携帯 080-5577-0191

◇近畿進交会

会長 植田 美夫(市大商昭34卒)

一、平成29年度の「近畿進交会の集い」は11月25日(土)天満橋のキャッスルホテルで丸山理事・佐藤事務局長ご来席のもと、家族会員も含めて43名の会員が集まり開催されました。

一、部講演会、2部総会、3部懇親会と今回から新企画として冒頭に講演会を設け、竹田博税理士(市大商昭49卒)に「賢い相続」についてお話をさせていただきました。オフレコを含み裏話満載で参加者からは「ためになった」と大変喜んでいただきました。また大学広報室の山崎亮子さんにはスライドを用いて現在の市大を紹介していただきました。在学時のキャンパスと現在の違いに終始花が咲きました。最後は抽選会で今回は役員が持ち寄った景品のほか、参加者全員に景品を用意しました。お米をはじめ多種類の景品で大いに盛り上がりました。

一、平成30年度の「近畿進交会の集い」は既に機関紙「しんこう」に予告掲載通り、11月10日(土)梅田 大東洋にて開催する予定です。



性化と将来のため「集い」とは別に「平成卒の会」を開催して平成年度の卒業生に引き続きアプローチをしていく予定です。

一、機関紙「しんこう」は今年も2回発行予定で全会員に配布すると共に、進交会ホームページにも掲載します。

事務局 森岡 章(市大商昭46卒)  
TEL 6100311

京田辺市草内山科396

TEL (0774) 653069

◇北海道支部

吉田 嗣博(市大商昭57卒)

北海道支部例会を1月18日、センチュリーロイヤルホテルで開催しました。参加者は13名、今回も進交会から佐藤事務局長をお迎えしての開催となりました。恒例の「知って楽しい話題のあれこれ」で例会を盛り上げていただいている、昭15年Y専卒の松原さんが8月に白寿を迎えられ、お祝いを兼ねた例会となりました。

佐藤事務局長からは進交会館建替えの経緯と寄付のお願いや、18年4月新設の横浜市大データサイエンス学部についての報告がされました。近況報告に移り、



初参加の昭63年文理卒の北澤さんと平成元年商卒の小笠原さんのお二人は、学生時代に弘明寺に住んでいたそうです。奇遇ですね。

現在の会員数は105名、身罷る方が多くなる中、皆様のご協力により会員数は増加傾向にあります。例会への参加者は減ってきています。次回は11月17日の土曜日を予定しております。皆さん御誘いあわせのうえご参加ください。事務局 石岡 至信 (市大商昭60卒)

〒0040874  
札幌市清田区平岡4条6丁目3-1  
011-886-3870

### ◆千葉県支部

支部長 飯野 芳郎 (市大商昭41卒)

「第17回進交会千葉県支部総会」を平成29年11月11日(土)に、京葉銀行文化プラザで開催しました。

今回の出席者は、会員18名(当初会員21名予定)、来賓として進交会古屋文雄理事長のご臨席を頂きました。

古屋理事長からは、秋谷理事長退任の後、理事長に就任した経緯や、進交会館建て替えの予定(31年10月完成)、大学の近況等をご挨拶で伺いました。

その後、懇親会に入り、最古参(昭28商卒)初参加の端山良夫氏の近況報告や、医師の小田清一氏(昭和51医卒)の健康の話(仕事を続けることが長寿の秘訣、弁護士・坊さん・議員は惚けない)等もあり、お酒を酌み交わしながら会員相互の交流の輪が広がりました。

最後に、恒例の須田繁氏(昭44文理)のエールの下、全員が肩を組んで、横浜市大校歌を歌い、来年の再会を期して終了しました。

今年の第18回千葉県支部総会は、11月10日(土)13時から、「ポトプラザ千葉」にて開催しますので、多数の会員のご出席をお待ちしております。

### ◆名古屋支部

支部長 正田 要一 (市大商昭52卒)

進交会名古屋支部は50年以上にわたり、定時総会・懇親会を毎年7月第2土曜日に開催してきましたが、『蒸し暑い夏に高齢な先輩方には』との多くのご意見により、29年度総会で「平成30年10月13日(土)16:30開催」が決定されました。

これまで、総会・懇親会の出席者増を目指して、①年賀状・2ヶ月前の案内状による葉書攻勢、②Y校(横浜商業高校)・医学部の名古屋地区進交会会員への郵送案内、③複数進交会員のいる組織への直接の働きかけ、また、当日の魅力化として、④現役横浜市大教授による講演会、⑤美人音楽家クラシック演奏等々と改善を積み重ね、今回新たに、⑥酷暑から心地よい秋の開催が加わりました。

さて、日30総会・懇親会がこれからの開催ですので、歴代の名古屋支部長さんのご紹介をもって支部報告に替えさせていただきます。直前の支部長は末安さんです。東海銀行専務取締役、中京銀行頭



取から、現在は名古屋学院大学の理事長などを務められています。メンネルコール出身のため、締め在校歌斉唱では壇上の中心歌手(?)です。2代前の支部長は鈴木さんです。大澤商会から奥様の実家である名古屋の老舗菓子メーカー、カクダイ製菓副社長を務められました。手品やゴルフ(ローシングルプレーヤー)が巧みで、ロングパットが入ると「このパッティングスタイルができるのは世界でもリー・トレビと俺の2人だけだ」と、必ず決め台詞を言われました。3代前の支部長は宮崎さんです。東海銀行からワシノ商事社長を務められました。事務局長としてお任せしましたが、大事なお客様をご案内した時のバー・ママさんに最上級対応を依頼する作法や、絵画への素養を高める美術館巡りを命じられるなど、エリート銀行マンの秘儀をご指南いただきました。4代前の支部長は片山さんです。創業された「アスカ」を上場企業に育て上げられました。支部長挨拶の最中に脳梗塞で倒れられ、そのままお亡くなりになりましたが、毎年新調したスーツで支部長挨拶することを楽しみにされていたそうです。ちなみに現事務局長の竹之内さんは「アスカ」の専務取締役です。

進交会には多士済々の同窓生と接する大きなチャンスであり、そのことを後輩諸氏に伝承する責務があると認識しています。総会出席者70名の達成目標をご支援いただければ幸いです。お知り合いの方に進交会名古屋支部の存在をぜひお伝え願います。

### ◆北陸支部

小林 雅恵 (市大文理昭54卒)

平成29年度総会は11月11日(土)、18時30分より「マリエール・オークパイン」にて、13名の会員と進交会事務局より佐藤公紀氏、市大広報室より芥川千紗氏にご来席いただくとともに、今年度は市大3年生で2016、17年ヨーロッパ世界チャンピオンの高田柊氏をゲストにお招きし開催されました。

初めに、佐藤氏より進交会館建て替えの経緯についてお話いただき、次に芥川氏から北陸3県出身の学生の様子や、来年度新設されるデータサイエンス学部について説明していただきました。校舎もどんどん新しくなり、敷地内にセブン・イレブンもできたと聞き、みな驚きました。昔の面影は少なくなりましたが、今後グローバルに活躍する学生の育成を目指す、母校のますますの発展を全員が願いました。

懇親会前の余興として、現役市大生の高田君による、華麗でアクロバティックなヨーヨーパフォーマンスを目の当たりにし、世界で活躍する後輩を誇らしく思うひと時でした。

また懇親会では出席者の近況報告と、恒例のとんちクイズで頭の体操をし、最後に全員で校歌を合唱し来年の再開を約束して総会を終えました。



連絡先 小林雅恵  
〒9200015  
金沢市諸江町上丁5922  
TEL 076-222-5235  
E-mail kobamasasa2011517@yahoo.co.jp

◆静岡県支部

支部長 戸塚 征士郎 (市大商43卒)  
第48回進交会静岡県支部総会を4月14日(土)、中島屋グランドホテルにおいて、参加者18名で開催しました。

総会は、宮田優治(市大商昭33卒)会員が参画してられる「静岡浜辺づくりの会」の話を交えた開会の辞でスタート、事務局から参加者増強工作の経緯報告等もありました。

記念講演は静岡歯科医師会元会長・小武海實先生の「日常生活に活かせる護身術」の話でしたが、講演の後半は参加者全員が上着を脱いでの実演参加型で、汗をかき、エキサイトしての演武講演となりました。

懇親会はジャズバンドWINDSの「宇宙戦艦ヤマト」の華々しい演奏で開演、昭40市大医卒の石田孜郎会員ご挨拶、昭24Y専卒中野忠会員の乾杯と続き、現役から第二の職場への山口幸博(市大商昭57卒)会員の話やら、完全リタイアの松本左千夫(市大商昭46卒)会員の話の合間には、生バンドで歌う人も出たり、胸襟を開いてしゃべりました、うれしくて騒ぎました、飲みました、食べました、気がついたら、全員がマイクを握ってアピールしていました。最後に、来年もみんな元気で逢いましょうと誓い合い、お

もいっさり校歌を歌って締めました。  
事務局 太田千晴 (市大商昭42卒)  
〒4200823  
静岡市葵区春日3・17・1  
電話 054・205・5058

◆上海支部

郁 偉 (市大商昭62卒)  
2018年5月14日、柴田悟一名誉教授の上海ご訪問に合わせ進交会上海支部の懇親会を開催しました。出席者の過半数が柴田ゼミ出身者で日本、台湾、シンガポール、江蘇省常州市(上海から1500キロ)、福建省(上海から1000キロ)在住のOB・OGもはるばる上海まで駆けつけ、にぎやかな懇親会となりました。

87年卒業の元留学生5名も参加し、市大卒業後30数年ぶりに再会した人もいました。

懇親会では柴田先生より市大2019年度から学部改革について伺い、また副学長の時代の医学部との関わりなど過去の大学勤務の思い出話が盛り上がりました。



後列 左から  
荒井一期(86年卒柴田ゼミ)、  
董会玲(87年卒土屋ゼミ)、  
彭雨(05年院卒柴田ゼミ)、  
伊東香苗(13年卒柿崎ゼミ)、  
川内谷佑樹(03年卒金子ゼミ)。  
中列 左から  
郁偉(87年卒柴田ゼミ)、  
朱悦(03年卒柴田ゼミ)、  
王維美(87年卒伊藤ゼミ)、  
林崇銘(87年卒、90院卒柴田ゼミ)。  
前列 左から  
蔡明娟(87年卒柴田ゼミ)、  
中本行則(85年卒内島ゼミ)、  
柴田悟一名誉教授。

◆Y校東海道会

矢部 和郎 (Y昭34卒)  
第32回Y校東海道会が去る4月8日(日)湘南クリスタルホテルで行なわれました。前年を上回る15名が参加され賑やかとなり、記念撮影の後石田会長(67期)のご挨拶、最年長の亀井良江氏(63期・昭25卒)による乾杯の音頭で開会となりました。

その後、参加者全員による3分間程度のスピーチが和やかに続きました。特に初参加の嶋田靖夫(70期・昭32卒)高橋正浩(72期・昭34卒)神戸千之(76期・昭38卒)二見泰弘(77期・昭39卒)各氏からY校生時代、卒業後の色々なお話を拝聴しました。

また、進交会事務局から出席頂いた安川栄一氏(82期・昭44卒)より進交会の近況を進交会館の建て替えを含めて伺うことができました。来年の再会を期し散会しました。

次回は平成31年4月14日(日)開催の予定です。



◆平成30年度『近畿Y校会』の集い

顧問 深谷 悦男 (Y昭26卒)  
4月22日(日)  
神戸南京町にある「雅苑酒家」に於いて、たまたま来神中の宮川安芸良(Y昭31卒)ご夫妻と近畿進交会麻野広行副会長(市大昭50卒)を交え、会員13名にての開催となりました。



近畿Y校会内田正雄会長(Y昭35卒)の挨拶と会計報告の後、和やかにこの1年のお互いの出来事等を話し合い楽しい一日となりました。

Y 校 祭

テーマ：『～燃やせY魂～創ろう最高のY校祭～』  
日程：10月27日(土)10:00～16:00  
10月28日(日)10:00～15:00  
場所：Y校校舎・グラウンド  
招待試合：硬式野球部 10月28日11:00～  
対戦相手 日大高校

期間中、Y校会主催のOBルームが開設されます！

# 進交会館建替え募金協力者

建替え募金へご協力頂き厚く御礼申し上げます。  
 お陰様で募金額合計は平成30年8月31日現在  
 12,687,728円(555名)となりました。募  
 金受付の締め切りを平成31年3月31日まで延長します。  
 この機会には是非ご協力下さいます様お願い申し上げます。  
 なお、ご協力者の敬称は略させていただきます。

(順不同・敬称略)

1,000,000円

美澤英子(美澤家之親族)

相原敏貴(昭41Y)

白井広幸(昭44Y)

500,000円

(学校、学部別・卒年順)

浅場敏男(昭27Y・32商)

山本道昌(昭31Y・35商)

300,000円

古屋文雄(昭38Y・43商)

100,000円

(学校、学部別・卒年順)

川島慶太郎(昭25Y)

鳥海邦博(昭29Y)

中崎(木川)田鶴子(昭30Y)

神谷幸宏(昭30Y)

加藤尚武(昭33Y)

石井喜代志(昭46Y)

大宮勲(昭48Y)

星野匡(昭53Y)

横浜銀行宿禰会

佐藤公紀(昭47商)

平和伸仁(昭62医)

80,000円

安川栄一(昭44Y)

6,728円

横浜市大数学会(浜数会)

60,000円

田宮国興(昭39Y)

50,000円

(学校、学部別・卒年順)

今田正廣(昭18Y)

横山明弘(昭28Y)

石田(武井)靖幸(昭29Y)

岩田全弘(昭30Y)

原光正(昭35Y)

高松(飯野)ミサエ(昭39Y)

田中準一(昭40Y)

太平洋不動産(株)(昭42Y)

中島(桑田)豊(昭46Y)

中山正仁(昭46Y)

Y校吹奏楽部OBバンド

弘田義(昭32商)

梅田誠(昭32医)

秋谷浄恵(昭35商)

小泉敦夫(昭35商)

高橋雅彦(昭46商)

丸山孝志(昭53商)

4,000円

菅野(小野寺)歌子(昭44Y)

30,000円

(学校、学部別・卒年順)

松三和郎(昭20Y)

名塚三和郎(昭20Y)

田中(木下)喜美代(昭27Y)

廣南規一郎(昭27Y)

鈴木直孝(昭30Y)

20,000円

(学校、学部別・卒年順)

中村(馬場)幸泉(昭12Y)

神岡重政(昭26Y)

吉岡重政(昭27Y)

小山(武井)靖幸(昭29Y)

笹平保雄(昭28Y)

小島(飯野)ミサエ(昭39Y)

山本道昌(昭31Y・35商)

織本(飯野)ミサエ(昭39Y)

小澤(飯野)ミサエ(昭39Y)

大澤(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

葛西(飯野)ミサエ(昭39Y)

10,000円

(学校、学部別・卒年順)

渡辺(飯野)ミサエ(昭39Y)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

山本道昌(昭31Y・35商)

10,000円

(学校、学部別・卒年順)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

10,000円

(学校、学部別・卒年順)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

伊藤(飯野)ミサエ(昭39Y)

Table listing names and titles of members, including 齋藤権, 菅野松, 神野神, etc., with their respective graduation years and titles.

Table listing names and titles of members, including 羽白西, 豊宮高, 森堀矢, etc., with their respective graduation years and titles.

Table listing names and titles of members, including 岩井白, 柏宮名, 渡野名, etc., with their respective graduation years and titles.

事務局長の挨拶
昨年度の進交会賞は、平成30年3月16日市大「いちちょうの館」にて、古屋理事長から次の14人の学生に授与いたしました。

進交会だより

Table listing names and titles of members, including 山小知, 廣岡内, 河津本, etc., with their respective graduation years and titles.

活動報告
平成29年度一般社団法人進交会社員総会
日時：平成30年5月26日(土)
場所：横浜市消費生活総合センター

活動報告

国際文化コース
まちづくりコース
地域政策コース
グローバル協力コース
経営学コース
会計学コース
経済学コース
物質科学コース
生命環境コース
生命医学コース
医学部
看護学科
平成30年3月1日のY校卒業式で7名に進交会奨学金、57名に美澤皆勤賞を授与しました。

第1号議案の事業報告を、総務・財務委員長の山本常務理事が報告。続いて第2号議案正味財産増減計算書・貸借対照表を浅木会計理事が説明し、三浦監事より監査報告がなされました。第1・2号議案に次いで第3号議案平成30・31年度理事監事候補者選任決議も全てが、いずれも満場一致で承認されました。

\*平成30・31年度役員（○印は新役員）

- 理事長 古屋文雄 金子延康  
 副理事長 田宮国興  
 会計理事 浅木克眞 大谷範雄  
 常務理事 長倉靖彦 田中準一  
 遠山慎一  
 相原敏貴 桑原正子  
 川口剛史 丸山孝志  
 山本道昌 中代繁  
 武田満明 小野塚章  
 山田喜美代 小柳津雅之  
 五十嵐裕子 大宮勲  
 ○中島豊 ○石井喜代志  
 ○星野匡 ○鈴木英夫  
 三浦敬 谷津章一  
 ○木場裕子

【進交会報第84号の送付について】  
 進交会報第83号は進交会館建替え計画をお知らせする為、昨年全ての会員宛送付しましたが、今回の第84号及び次号の85号は進交会建替え工事期間（平成30年4月～平成31年11月迄）中の財政的事情により、進交会費納入者のみに送付します。何卒ご理解賜ります様よろしくお願い申し上げます。  
 なお、進交会報は「進交会ホームページ」にも掲載します。

正味財産増減計算書総括表

自 平成29年 4月 1日  
 至 平成30年 3月 31日  
 (単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	美澤基金	総合計
(1) 経常収益				
基本財産受取利息	641			641
広告料収益等	485,676			485,676
貸室収益		13,991,785		13,991,785
共益費収益		2,817,074		2,817,074
光熱費収益		1,841,195		1,841,195
みなと倶楽部収益		7,810,684		7,810,684
文化教室収益		638,000		638,000
受取入会金	6,015,000			6,015,000
受取会費	5,236,000			5,236,000
受取寄付金			10,991,000	10,991,000
雑収入	20,422	478,848	287	499,557
経常収益計	11,757,739	27,577,586	10,991,287	50,326,612
(2) 経常費用				
会報発行費	5,419,015			5,419,015
その他の事業費	395,299	691,212		1,086,511
行事費	257,511	0		257,511
慶弔費	5,000	5,000		10,000
母校関係費	1,065,120			1,065,120
奨学金	1,125,000			1,125,000
みなと倶楽部運営費		9,257,211		9,257,211
文化教室運営費		556,888		556,888
諸給	3,351,837	4,305,293		7,657,130
法定福利費	449,364	1,022,712		1,472,076
交通費	229,084	708,506		1,174,988
通信費	1,080,357	94,631		10,065,580
管理費	0	10,065,580		207,306
修繕費		207,306		2,648,492
光熱費	264,850	2,383,642		167,220
会議費	80,360	86,860		1,756,293
消耗品費	224,610	1,531,683		2,105,800
租税公課	0	2,105,800		3,081,800
固定資産税		3,081,800		6,299,865
減価償却費		6,299,865		45,799
支払利息		45,799		249,240
保険料		249,240		37,815
図書費	18,908	18,907		65100
諸会費	4,050	61,050		811
衛生費		811		223,314
雑費	130,856	25,800	66,658	56,973,475
経常費用計	14,101,221	42,805,596	66,658	10,924,629
当期経常増減額	△ 2,343,482	△ 15,228,010	10,924,629	△ 6,646,863
一般正味財産期首残高	120,928,974	△ 34,462,111	51,429,579	137,896,442
一般正味財産期末残高	118,585,492	△ 49,690,121	62,354,208	131,249,579
指定正味財産期末残高	20,359,147			20,359,147
正味財産期末残高	138,944,639	△ 49,690,121	62,354,208	151,608,726

貸借対照表総括表

平成30年3月31日現在  
 (単位:円)

科 目	一般会計	特別会計	美澤基金	総合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	1,393,063	0	10,298,300	11,691,363
未収入金				0
前払費用				0
流動資産合計	1,393,063	0	10,298,300	11,691,363
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
奨学金・定期預金	12,919,147			12,919,147
基本金・定期預金	7,440,000			7,440,000
基本財産合計	20,359,147			20,359,147
(2) 特定資産				
土地	28,332,089			28,332,089
特定資産合計	28,332,089			28,332,089
(3) その他の固定資産				
建物		82,937,154		82,937,154
建物付属設備		27,593,334		27,593,334
什器備品		117,736		117,736
長期貸付金		0	52,055,908	52,055,908
その他の固定資産合計		110,648,224	52,055,908	162,704,132
固定資産合計	48,691,236	110,648,224	52,055,908	211,395,368
3. 事業間貸借	116,477,181	△ 116,477,181	0	0
資産合計	166,561,480	△ 5,828,957	62,354,208	223,086,731
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金	0	0	0	0
従業員預り金	101,088	6,009	0	107,097
流動負債合計	101,088	6,009	0	107,097
2. 固定負債				
前受入会金	18,115,000			18,115,000
預り金		1,200,000		1,200,000
預り保証金				0
預り敷金				0
長期借入金	9,400,753	42,655,155		52,055,908
固定負債合計	27,515,753	43,855,155		71,370,908
負債合計	27,616,841	43,861,164		71,478,005
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
奨学金	12,919,147			12,919,147
基本金	7,440,000			7,440,000
指定正味財産合計	20,359,147			20,359,147
(うち基本財産への充当額)	20,359,147			20,359,147
2. 一般正味財産	118,585,492	△ 49,690,121	62,354,208	131,249,579
正味財産合計	138,944,639	△ 49,690,121	62,354,208	151,608,726
負債及び正味財産合計	166,561,480	△ 5,828,957	62,354,208	223,086,731

# Y校会だより

## ◆一九七九年の夏

神崎 政敏 (Y昭27卒)

甲子園の歓声がラジカセから  
 しかし、私はひまわりのラッパから聞こえる。

昭和五四年(一九七九年) 46年ぶりにY校は甲子園に駒を進めた。

我々「27会」、100余名はY校大応援団の中にいた。Y校校歌を声の限り唄った。熱い涙が頬を伝った。

8月20日、ついに準決勝戦。さしもの甲子園は興奮と緊張に包まれた。

県大会から唯、一人投げ抜いた宮城君はギアをトップに上げた。

箕島高校(和歌山県)のバッターは次々と空を切った。



## ◆Y校会創立20年以来的思い出

亀井 良江 (Y昭25卒)

平成9年11月のY校会創立式の折、同期の参加者は15名程と記憶しています。

全体としてはかなりの出席者で盛大でした。私は平成13年の津和野の研修旅行、平成16年の京都の丹後半島方面の宿泊研修旅行に参加し、楽しかった思い出があります。また、横浜市内Y校史跡巡りで印

象深かったのはY校設立者・小野光景氏の立派な顕彰碑が本牧臨海公園に建立されていた事、更に鶴見の総持寺に小野家の立派な墓地があり感動しました。

他にも西区の伊勢山皇大神宮の一隅に日露戦争で戦死された卒業生12名の戦没者の表忠碑があり、「明治41年建立」と銘記されていた事に感銘を受けました。

平成18年には日帰りバス研修旅行で群馬県の赤城方面へ硬式野球部の合宿激励を兼ねた見学に行き、当地に横浜市の立派なスポーツ施設があることを認識させられました。当時の研修旅行に参加され、その後亡くなられた友人、そして健康状態その他で現在の行事に参加できない方々を思うと、私自身が参加できることを幸せに思っています。

平成26年よりY校会も一層組織化され校祖美澤先生の墓参会・歌舞伎鑑賞教室・Y校祭でのOBルーム開設・母校への支援等による活動等で着実に発展していることを実感しています。そして委員会・懇親会の折には校歌を歌い、また懐かしき応援歌などを参加者全員で合唱する事は感慨をより深くしています。

誌面の都合上、書き足りぬ面もあり誠に残念ですが、私の心にはまだまだ幾多の思い出が残っています。これまで役員としての参加も含めて、お役にたてずに月日が過ぎ去ってしまいました。Y校会の目標の一つである「親睦」があったからこそ良き同窓の友に巡り会い、恵まれた時を過ごせたのだと心から感謝しています。

Y校会の末永き発展をお祈りします。

### ◇Y校会、鶴見七福神めぐりに参加して

菅原 義子（Y昭31年卒）

平成30年の初めてのY校会、鶴見七福神めぐり、京急鶴見市場駅集合。

参加者9名。ご朱印台紙を頂き、①熊野神社(福祿寿)へ。地元鶴見



市場在住の神崎政敏さん(昭27年卒)が待ち受けて居られ、鶴見市場の歴史を説明していただき、激励にチョコレートに皆に下さる。

旧東海道を箸秀子さん(昭33年卒)の説明で、市場一里塚、鶴見川関門旧跡とかを訪ねながら歩く。②鶴見神社(寿老人)江戸時代の旅人が食したと云う、よねまんじゅうを購入し、③總持寺(大黒尊転)。お弁当持参の昼食。暖かいが、突風の吹く中を、④東福寺(毘沙門天)。花月園前から生麦の⑤正泉寺(恵比寿神)へ生麦事件の現場を過ぎ、⑥安養寺(福寿弁財天)。ここからは大分歩いたのでバスにて⑦松蔭寺(布袋尊)。七福神すべて達成！歩数は16,439歩でした。

いささか疲れたものの、縁起ものなので、今年一年皆に福が訪れるのでは？

### Y校会活動報告

Y校会事務局 安川 栄一（Y昭44卒）

〔Y校会創設20周年の集い〕を開催

平成29年11月25日(土)にローズホテル横浜於、来賓7名を含む152名が出席し盛大に開催しました。当日は、田宮会長の挨拶に始まり、来賓(古屋文雄進交会理事長、長田正剛Y校校長)の祝辞、南信一郎Y校後援会会長による乾杯のご発声により、華やかに祝賀会が始まりました。

続いて田宮会長からY校長田校長へ「Y校会海外研修奨学金」の贈呈、『筆・尺八』の祝演奏、そしてゲストに『日本一速い女子高生ライダー』岡崎静夏氏(平23卒)を迎えてのトークショー、最後にプラン演奏で閉会となりました。

出席者への記 念品として、Y校生が考案し洋菓子店の「プチフルル社」で販売されている「シューシューマイ」をお持ち帰りいただきました。

### 〔Y校会海外研修奨学金〕の創設

海外を目指すY校生。その志に添えていく事を目的として、今般『Y校会海外研修奨学金』を創設し、Y校が企画する海外研修への自費参加生徒を対象に奨学金を授与する事としました。



### 〔概要〕

研修先	総額	1名当り限度
ニューヨーク	20万円	10万円
台湾	10万円	5万円

※1名当りの配分金額は総額を対象者数で按分し、且つ、1名当りの限度額を上限とします。

### 〔平成29年度実績〕

1. 平成29年10月 台湾研修参加者3名に各3万円、計9万円を授与
2. 平成29年12月 Y校会創設20周年記念事業として、Y校の姉妹校提携先であるバンクーバーのチャール校への訪問者19名に対し、各1万円計19万円を今年度に限り授与
3. 平成30年1月 ニューヨーク研修参加者3名に各7万円計21万円を授与

### 〔Y校会について〕

Y校会是一般社団法人進交会のY校同窓会部門として、会員相互の研修と親睦を図り母校の発展に寄与する事を目的に平成9年に発足しました。母校Y校を卒業した者をもって構成し、Y校会会費(進交会とは別枠)年間1,000円以上を納める者を正会員、他を一般会員としています。

☆お問い合わせは 現在、正会員を募集中です。 Y校会事務局(進交会内担当 安川 遼) 電話 045-309-9960

### 〔今年度下期行事予定〕

- ☆10月(日程・会場未定) 第7回麻雀大会
- ☆10月27日(土)〜28日(日) Y校祭OBルーム開設
- ☆12月1日(土) Y校会の集い
- ☆11月30日・12月30日 Y校会の集い

会場 ローズホテル横浜  
 ※進交会館建替え工事期間中、Y校会講座は休講させていただきます。ご了承ください。

# 訃報

平成30年8月31日までに、逝去の知らせを頂いた会員の方々です。謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成一一年 小玉 明 (昭29商)	平成一六年 山成 博 巳 (昭42商)	平成一七年 渡辺 一枝 (昭31Y)	平成一八年 沼尾 嘉時 (昭47医)	平成一九年 加藤 昭 (昭23専)	平成一二年 島村 豊 (昭32文)	平成一四年 高野 好司 (昭35Y)	平成一五年 林 滋生 (旧教員)	吉岡 豊一 (昭20Y⑤)	飯田 節子 (昭28Y)	小島 芳夫 (昭29Y)	相原 与志雄 (昭32商)	山崎 一 (昭33文)	鈴木 秀夫 (昭39商)	平成一六年 宮地 壽夫 (昭22専)	根本 スミ子 (昭27Y)	須藤 貞治 (昭30Y)	殿塚 貞一 (昭33Y)	山崎 信夫 (昭33医)	今井 隆夫 (昭43Y)	和田 信介 (昭43文)	斉藤 千代 (昭48二看)	平成一七年 鈴木 次男 (昭14Y)	清水 栄一 (昭16Y)	瀬谷 清 (昭17専)	西田 豊和 (昭25専)										
内山 正徳 (昭26医専)	幡谷 健 (昭26医専)	角田 善男 (昭27Y)	尾高 厚三 (昭29商)	相田 常昭 (昭32商)	池田 吉徳 (昭33文)	三浦 武徳 (昭36商)	池田 清 (昭40商)	斎藤 真志 (昭48文)	平成一八年 神戸 久尚 (昭18Y)	井上 実 (昭19専)	塩田 利孝 (昭20Y⑤)	多田 宏 (昭20Y⑤)	鈴木 一男 (昭24Y旧)	星野 廣利 (昭26医専)	加藤 孝修 (昭27Y)	森 孝夫 (昭27Y)	久保 雅照 (昭28Y)	久島 肇 (昭29Y)	井上 隆夫 (昭29商)	井上 隆夫 (昭29商)	城下 栄三郎 (昭29商)	麻生 忠司 (昭30Y)	大西 輝昌 (昭32Y)	河村 清 (昭32Y)	座間 一雄 (昭34Y)	上原 貞男 (昭34商)	益田 博二 (昭34商)	渡辺 清 (昭34商)	戸倉 恒久 (昭35商)	小林 三郎 (昭36Y)	猪塚 猛 (昭37文)	高橋 節子 (昭38Y)	石川 登 (昭39商)	真島 凱 (昭41商)	鎌原 日子司 (昭42数)
加藤 邦夫 (昭43商)	富田 真也 (昭43商)	後藤 和男 (昭46Y)	上野 三紀 (昭46Y)	石井 寿代 (昭58Y)	平成一九年 前田 宣明 (昭13Y)	前田 雄吉 (昭14Y)	下山 平猪 (昭15Y)	中島 行雄 (昭16Y)	碓井 光彦 (昭16Y)	梅原 貞次 (昭16Y)	越湖 良平 (昭16Y)	秋元 人也 (昭17Y)	柚木 能宣 (昭17Y)	小松原 利一 (昭18Y)	岡田 秀三郎 (昭18専)	松林 栄 (昭18専)	相澤 俊 (昭19専)	山下 高明 (昭19専)	片山 高司 (昭20Y⑤)	金子 信夫 (昭20Y④)	田村 利男 (昭20Y④)	栗原 和幸 (昭21Y)	安藤 春雄 (昭22専)	石塚 時雄 (昭22専)	田中 久 (昭23Y)	井戸 豊彦 (昭24医専)	樋口 和二 (昭25Y)	甘粕 宏 (昭25専)	飛鳥井 豊 (昭25医専)	中山 義之 (昭25医専)	亀井 速雄 (昭26Y)	須山 正利 (昭26Y)	小澤 良三郎 (昭26専)	小俣 照信 (昭26医専)	
池田 一男 (昭27Y)	小林 謙造 (昭27Y)	野口 淳 (昭27Y)	南 保夫 (昭27Y)	原 信久 (昭27商)	秋山 富治夫 (昭28Y)	山本 光昭 (昭28商)	西川 利次 (昭29Y)	斎藤 章 (昭29Y)	星野 春路 (昭29Y)	大山 義隆 (昭30商)	對木 彰 (昭30商)	鈴木 直之 (昭31Y)	品田 悦昭 (昭31商)	瀬川 宏芳 (昭31商)	富田 康夫 (昭31文)	尾上 雄作 (昭32商)	鈴木 政章 (昭32商)	田澤 成雄 (昭32商)	山田 啓一郎 (昭32商)	高橋 泰 (昭32文)	大野 茂雄 (昭33Y)	滝沢 厚二 (昭33Y)	五味 珠江 (昭33Y)	西幹 忠生 (昭33商)	馬場 晴美 (昭33一看)	雨宮 育夫 (昭34商)	稲垣 尚 (昭34商)	田窪 俊司 (昭34商)	佐藤 實 (昭34医)	岩沢 宏益 (昭35商)	原 實 (昭35医)	斉藤 芳雄 (昭36Y)	米満 亘 (昭36Y)	宮腰 丈志 (昭36商)	広木 秀子 (昭37Y)
松本 惇 (昭37文)	湯川 俊夫 (昭38商)	竹村 哲成 (昭39文)	工藤 力 (昭41文)	山田 庸子 (昭41文)	金田 宏一 (昭42商)	角田 英之 (昭42文)	足立 宏 (昭43商)	橋 好碩 (昭43文)	斎藤 惇 (昭43医)	和田 美治 (昭45Y)	佐藤 和美 (昭51医)	種田 洋子 (昭52商)	大前 茂樹 (昭53商)	新倉 学 (昭59Y)	結城 政信 (昭60商)	宮崎 和憲 (平元文)	平成30年 鮎川 徳七 (昭16専)	高橋 友信 (昭20Y⑤)	金田 定雄 (昭23Y)	池谷 芳明 (昭26Y)	内藤 敦代 (昭27Y)	加藤 洋海 (昭28Y)	高梨 孟 (昭29Y)	梅田 雄士 (昭30Y)	水井 孝志 (昭30Y)	植田 良明 (昭31商)	高橋 洋一 (昭31商)	鈴木 幹雄 (昭31文)	千葉 教 (昭33Y)	廣田 一幸 (昭33Y)	石川 正男 (昭34商)	篠田 昌尚 (昭34商)	坂井 弦 (昭37文)	手島 章 (昭40Y)	

**Y校昭和43年卒(第81期) 同期会幹事募集**  
 来年2019年に古希を迎え、また卒後50周年を記念して昭和43年卒同期会を開催したいと思います。準備会を発足したく、各クラスの幹事を引受けて頂ける方、進交会事務局までご連絡下さい。 進交会 電話 045(308)7960  
**Y校昭和43年卒5組 五十嵐(望月)裕子**

関根 利美 (昭40Y)	太田 幸彦 (昭44商)	天野 勝 (昭47Y)	沼崎 清司 (昭47Y)	小城原 新 (昭47生)	三神 聡 (昭61数)	森川 哲 (昭63数)	逝去年月不明	田中 武勝 (昭19専)	保科 忠邦 (昭37Y)	石野 敬三 (昭43商)
--------------	--------------	-------------	--------------	--------------	-------------	-------------	--------	--------------	--------------	--------------

**自然災害お見舞い申し上げます。**  
 今年の日本各地に発生した自然災害の被害に遭われた皆様及び会員の方には、心よりお見舞い申し上げます。  
 1日も早い復興をお祈り申し上げます。

**平成31年度 進交会新年懇親会のお知らせ**  
 日時 平成31年1月26日(土)  
 午前11時受付開始、  
 11時半開宴  
 場所 崎陽軒本店 4階  
 会費 7000円(予定)

## 編集後記

本年度もY校・Y専・市大の在校生や同窓生の交流の場となる進交会報をお届けする季節となりました。  
 本年は市大創立九十周年の祝賀の年です。当会報第84号をご覧いただき、記念式典や同窓会に多数の方のご参加を願っております。そして進交会報を通して、国際港都横浜の特色ある教育の歴史を振り返る機会となれば幸いです。  
 また、ホームページには、進交会館改築に向けて工事の進捗状況を掲載しております。同窓生の活動の場となる完成の日をお待ちください。  
 今後も皆様から会報やホームページへの寄稿をお待ちしております。  
 末尾となりましたが、寄稿・広告掲載いただきました方々に厚くお礼申し上げます。  
 会報・HP委員長  
 桑原正子(市大文昭41卒)